大船渡土木センター 震災復旧・復興情報　かわら版

平成２５年６月26日発行　大船渡土木センター
◇HP：http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?ik=3&nd=1395
Vol. 6

１．災害復旧事業の取り組み状況

❏ 大船渡港の茶屋前地区において、津波により被災した港湾施設の災害復旧工事が本格化することから、工事関係者により安全祈願祭及び着工式を開催しました。（H25.5.29）
　防潮堤の早期整備により市民の生命と財産を守ることは元より、大船渡地域の産業基盤の中枢である大船渡港湾施設の早期復旧に取り組むものです。
　また、陸前高田市においても、二級河川気仙川の水門土木工事の着手に先立ち安全祈願祭を開催しました。（H25.6.4）

《　大船渡港　》

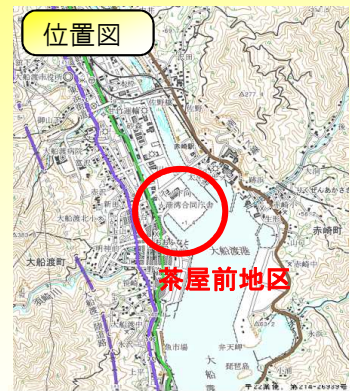
○ 茶屋前地区 災害復旧工事の概要

《復旧工事》
- 防潮堤工事　　L≒699m
- 物揚場工事　　L≒441m
- 岸壁工事　　　L≒541m
- 埠頭用地嵩上げ　A=12.4ha

（防潮堤工事・物揚場工事・岸壁工事）復旧延長合計　1,506.5m

《復旧方針》
- 防潮堤計画高　T.P.+3.4m → T.P.+7.5m
- 埠頭用地　　　嵩上げ高　平均1.1m

《工事費》
- 約51億1,800万円（※復旧工事の合計）

着工式：鍬入れ状況

防潮堤現況（整備前）

防潮堤復旧イメージ

《　二級河川気仙川　気仙川水門　》

❏ 二級河川気仙川では、3.11東日本大震災による津波が河口より約７km以上遡上し橋梁３橋を流出させたほか、津波が河川堤防（T.P.+5.5m）を大きく乗り越え、護岸流出や堤防の破堤など甚大な被害をもたらしました。
　気仙川の背後には陸前高田市の復興まちづくり計画が策定されていることから、今回整備する気仙川水門と隣接する高田海岸防潮堤と一体となって、新たな市街地の安全を確保するものです。

位置図

○ 災害復旧工事の概要

《復旧工事》
・水門工事施工延長　211m
・水門計画高　T.P.+12.5m（※高田防潮堤計画高に同じ）
・工事費　601,335万円

《設計の考え方》

単位:m(T. P.)

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】＞【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
広田湾	18.3	想定宮城県沖	11.5	12.5	○	12.5	4.95～6.5

安全祈願祭：玉串奉奠

安全祈願祭：切麻散米

気仙川水門復旧イメージ図

❏❏ かわら版に関する問合せ先 ❏❏
沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）
TEL：(本庁舎) 0192-27-9919、(分庁舎) 0192-26-1951　◇E-mail：BG0005@pref.iwate.jp